

CHALLENGE NEWS

チャレンジニュース!!

—発行—
社会福祉法人 明徳会
〒861-5503
熊本市北区明徳町707-1
TEL(096)215-9101
FAX(096)245-2344

障害者支援施設
チャレンジめいとくの里

障がい者ケアホーム&グループホーム
orangehouse

今月のラインナップ

P1～めいとくフェスタ実行委員長より
P2～一日密着～通所スタッフ・支援員の日～
P3～対談（利用者自治会と生活支援員）
P4～プライベートアイズ ～事務長 北村直登～

こころとこころが通う、
深く向き合った
支援をしよう。

challenge 2012



第8回 めいとくフェスタ
ご協力頂きました皆様
誠にありがとうございました。



次回めいとくフェスタ実行委員が、より良いイベントを作りあげられるように、今回の反省を活かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

第八回めいとくフェスタ
十一月三日（祝）に「第八回めいとくフェスタ」を開催しました。
当日は天候にも恵まれ、予想を上回るお客様にお越しいただきましたおおいに盛り上がりました。開催にあたっては近隣の皆様のご理解・ご協力と様々な関係機関の皆様にご支援をいただき、無事に開催できたことをお礼申し上げます。
今回、新たな試みとして地域の方参加イベント、大声コンテストをさせていただきました。地域の方のご参加下さったことにより、さらにフェスタ全体として一体感が出たのではないかと思います。

～スタッフブログ～

「めいとく日和」より

1周年記念 テーマ：オレンジハウス



めいとく日和
で検索！



今日のご利用者様の発案で
1周年記念パーティーを行いました。ケーキは世話人さんがスポンジを焼いて下さりみんなでデコレーション。みんなの目がキラキラ。



食後は黒ひげゲームで盛り上がりました。また1年皆で仲良くいこうねっと最年長のMさんが笑う明るい会になりました。

Private Eyes...☆



チャレンジめいとくの里事務長
北村 直登
～地域校区自立支援協議会について～

私の住んでいる一新校区の活動方針の1つ、校区での総合福祉村構想は障がいのある人が普通に暮らせる地域づくりを掲げています。その手段の1つが地域校区自立支援協議会です。

障がいのある人、一人一人のニーズに対して、支援の必要性を図り適切なサービスを調整していくためには、既存制度にあてはめるだけでなく地域のあらゆる資源や可能性を繋ぎ合わせていくことが必要であり、そのためには、校区内の関係機関が専門性に縛られることなく地域全体で支える仕組みを構築することが求められています。その地域で暮らす障がいのある「個人」を支援するための仕組みであり、そこに携わるあらゆる関係機関が個別支援を通して、地域を繋ぎ合わせるための情報共有の場、合議形成の場と考えています。

地域の関係機関が緩やかに自己責任の中で集まれる協議会で、地域の実情に合わせた重層的な仕組みを持たせたいと考えています。

地域生活支援センター チャレンジ

平成24年4月の障害者自立支援法の改正により障害福祉サービスを利用する際、サービス等利用計画の作成が必要となりました。（熊本市では24年10月より）平成24・25・26年の3年間ですべての障害福祉サービス利用者がサービス等利用計画の対象となります。24年度は新規利用者と施設入所支援の更新者が対象となっています。地域生活支援センターチャレンジでもサービス利用計画の依頼を受けて作成しています。

地域生活支援センターチャレンジ 後藤

◎住所 熊本市北区植木町植木 163-1
◎電話 227-6450 ◎F a x 227-6451
◎E-mail meitoku-challenge@live.jp

ボランティア募集!

- ★活動ボランティア
日中の生活場面においてサポートしていただける方
- ★フィーバーボランティア
第一金曜日に実施しているEMSやイベントと一緒に楽しんでいただける方
ボランティア未経験の方でも大歓迎です!!
気軽にご連絡下さい

電話
096-215-9101

Mail
meitokunosato@yahoo.co.jp

ボランティア担当:今井
連絡先QRコード



月に1回のEMS
(イベントスペースめいとく)



さくらグループとわかぼグループの代表者さん

今回は、利用者自治会に参加されたご利用者様と生活支援員で「これからのめいこの里」を大きなテーマにお話しさせて頂きました。利用者自治会は、毎月第三月曜日の午後に施設入所支援、通所支援を利用されている方で、各活動グループを代表して数名が集まり、主に生活をテーマに話し合いを行っています。ここで話した内容は会議録を残し、他の支援員にも伝わるようにしています。

- ◇めいこの里ってどんな場所ですか？
- ご利用者様
 - 楽しい所
 - 人が沢山
 - 社会勉強する所
 - 楽しいけど家がいい
- 生活支援員「困っている事はありますか？」
- (利)好きなテレビが見れなくて嫌だ。
 - お友達と喧嘩になって嫌だ。
 - 好きな時間、好きな事が出来ない。



真剣な表情のNさん。いつもおちゃめなTさん。

「めいこの里」の対談 ～チャレンジめいこの里利用者自治会&生活支援員～

◇めいこの里で楽しい事は何ですか？

- (利)外出 ・ドライブ ・カラオケ・ディスコ (ESSM)
- 松村施設長・トランプ
- (支)お友達が居るから楽しい事ばかりですね。
- (利)本当だ。お友達がいるから楽しい。
- (支)めいこの里にルールがあったりするの、沢山の人がいる、楽しく生活するためにルールが必要なんです。
- ◇どんな暮らしをしたいですか？
- (利)みんなが楽しくがいい。
- 音楽を沢山聴ける生活がしたい。
- いろんなグループに行ける生活がしたい。
- (支)さっきもお話したように、楽しく暮らすために話し合いをして、利用者自治会の皆さんから発信していけたらいいですね。
- (利)うん。音楽を聴きたいから、支援員さんに「他の音楽を聴きたい」と伝えます。



(利)お家がいいけど、めいこの里を利用する事が楽しくなるようにしたい。

(利)そうですね。頑張りましょう。

真剣にお話しさせて頂くと「お家がいい」と本音も聞かれ、ご利用者様のさまざまの思いを知る事が出来ました。めいこの里の生活が豊かになる事は、ご利用者様とそこにいる支援者が共に考える必要があります、一方の考えや思いだけでは成り立たないものなんだと学ぶ事が出来ました。

生活支援員 岸川友美



皆さんも一緒に利用者自治会に参加して下さい。

1日密着取材 ～通所部編～



所属:通所部(職員4名)
主な勤務体制:
S勤 8:00～17:00
遅勤 9:00～18:00

～1日の流れ～ (通勤編)



各グループ活動開始。



活動終了後、通所部の送り出しを行う。送り出しでは、整容・忘れ物・連絡帳を持参しているか等のチェックを行い送り出す。



送迎出発。 送迎後、翌日の準備

送迎を行う。送迎ルートは大まかに健軍・植木・西区・合志・長嶺方面がある。帰園後、翌日の通所部の準備を行う。翌日の利用者名簿、短期入所・日中一時の準備、パソコン入力、予定の変更確認等を行う。



通所部スタッフとの終礼。送迎時で変わったことがなかったか、ご家族からの申し送りや日中帯の様子、翌日の確認を行う。



勤務終了。

今回は
就労移行支援事業
の一日に密着します。



出勤後、申し送りを聞き、来園されたご利用者様の受け入れを行う。通所部受け入れでは、連絡帳の確認や予定の変更、昼食薬の有無を確認する。



受け入れ後、医務課に昼食薬を渡し、所属グループで活動を行う。



活動終了後、受け入れ時にあった予定の変更等や帰りの送迎表の組み換えを行う。



歯磨き支援 食事支援

昼食時は主に、通所部ご利用者様の食事の支援を行う。支援内容は、食事の支援・歯磨き支援・トイレ誘導を行う。食事支援終了後、昼食を摂る。